

「平成31年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称	企画業務費 [市長と語ろう会（タウンミーティング）事業]						
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 7	企画費	事業番号 1
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの（市の上乗せあり）						
担当部署・課長名	企画 課			企画	担当	課長名	荒井 亮二
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号	行一 3	
【施策名】市民自治の向上					総合計画書 (ページ)	127	
この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。 市民			① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） 市民の数（4月1日現在）			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 市民と市長が市政運営に関して率直な意見交換を行うことにより、市民の市政に関する理解の促進を図る			② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） 市民意識調査における「市民参画のまちづくりの推進」に関する市民満足度の割合			
	③ そのために何をしましたか。 ①市長の指示伺いを行い、市長と語ろう会（タウンミーティング）のテーマ、開催時期、開催回数等の方針を決定する。 ②テーマごとに主管部を決め、主管部とともに、市長と語ろう会（タウンミーティング）の開催内容を検討し、市長の指示伺いを経て、開催内容を決定する。			③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） ①タウンミーティングのテーマ数 ②開催回数（単位：回） ③参加人数（単位：人）			
指標の推移	対象指標 ①の数値		人	過去2年間の実績	当該年度	成果目標	
				平成29年度実績 85,698	平成30年度実績 85,337	平成31年度実績 85,266	令和2年度目標
	成果指標 ②の数値		%	11.1	11.2	集計中	
	目標 ②の目標値					12.130	13.060
目標値設定の考え方 第四次基本計画の目標値（平成33年度14.00%）							
活動指標 ③の数値		①個 ②回 ③人 (367)	①2 (23)	①2 (22)	①2 (352)		
経費	事業費（実績）		円	16,863	0	11,330	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更ください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	一般財源		円	16,863	0	11,330	
	特定財源		円	0	0	0	
	(うち受益者負担)		円	0	0	0	
	人件費（再任用以外）		人	0.1	0.1	0.1	
	所要人数（再任用）		人	0.0	0.0	0.0	
	職員人件費（再任用以外）		円	825,300	824,400	831,000	
職員人件費（再任用）		円	0	0	0		
事業費+人件費		円	842,163	824,400	842,330		
環境変化等	(1) 開始年度 平成23年度						
	(2) 環境の変化						
市民と市長が市政運営に関して率直な意見交換を行い、市民の市政に関する理解の促進と市民に開かれた市政運営の推進を図ることを目的に、平成23年度から「市長と語ろう会（タウンミーティング）」を開催しているが、参加人数が開始当初と比較して近年減少傾向にある。そこで、平成29年度から、参加者数の増やテーマに合った方々にご参加いただくことを目的に、市の主催イベントとの同時開催で実施している。平成31年度については、創業チャレンジ施設「チエレステ・ガーデン」での実施や、「高齢者向けネット利用犯罪被害防止啓発講習会」との同時開催という方法で実施した。							

事業名称	企画業務費 [市長と語ろう会（タウンミーティング）事業]				
担当部署・課長名	企画	課	企画	担当	課長名 荒井 亮二

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし					
	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）					
6 市民協働	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：③、⑥、⑦				
	<input type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）				
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え方」「気付いた」点 参加した方について、全員が意見等を発言しているわけではない。意見交換の場として、より多くの方に発言してもらえるような進行や仕組み作りが必要ではないかと感じる。					
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 幅広い世代の方々やテーマに合った方々にご参加いただけるよう開催方法を工夫していく必要がある。					
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 ①商店街の方が参加しやすくなるよう、創業チャレンジ施設「チェレステ・ガーデン」で開催した。 ②市のイベントに引き続き、同日に開催した。					
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 今後も引き続き、幅広い世代の方々やテーマに合った方々にご参加いただけるよう開催方法を工夫していく必要がある。					
	8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）					
	施策名：市民自治の向上 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）					
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 ・平成31年度は商店街に関わりのある方を対象としたことから、今後も幅広い世代の方々にご参加いただけるような内容を検討していく。 ・より多くに人に参加してもらえるよう、広報手段として、ポスター掲示、市報、ホームページのほか、ツイッターやフェイスブックを有効活用する。					
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 より多くの人に参加してもらえるような開催内容を検討する。また、広報については、広報担当部署である秘書広報課と連携を図り、迅速で効果的な広報を行う。					